

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

立候補意思表明書

平成 27 年 5 月 3 日

市川 孝

現在、JHFの監事と埼玉県連の理事・事務局長を務めている市川です。スカイスポーツに関わるようになったのは、17年ほど前にパラグライダーを始めてからで、現在は埼玉県下のスクールをホームエリアとしています。

長年、公益社団法人日本広告審査機構（略称、JARO）に務め、事務局長などを歴任し、現在は退職しています。同団体は広告・マスコミ業界の業界団体でありながら、苦情処理、適正化のための審査を公正・中立に行ってきましたので、そこでの経験はJHFの活動に役立つものと考えています。具体的には主務官庁との連絡・協調、事務局業務の支援、広報・PR活動など運営面での協力・支援を行いたく、今回は理事に立候補しました。

公益法人の運営は、多くの会員の意見が民主的に反映されることが重要となります。そのため理事は、事業と予算を公正で適正に執行するのはもちろんのことです。また、財政の中心となる会費はフ라이어の方々から預けられたものですので、事業経費を有効に活用し、さらに事業の合理化などによる経費の削減を図ります。なお、団体の運営には財政基盤の安定が重要な事項となりますので、将来にわたる中期的な財務状況に注視した運営を図ります。

JHFは公益社団法人となり、理事の権限と責任も強化されました。今後とも、スカイスポーツの安全性の向上と発展のため、さらにJHFの公益性を高めていくために、理事として尽力します。